

年末年始・旧正月における家畜防疫対策の徹底を!

野生いのししにおける豚熱感染は、本県や隣県の岩手県、秋田県でも確認されており発生リスクが高まっています。また、中国や韓国ではアフリカ豚熱の発生も確認されています。

年末年始及び旧正月の時期を迎え、人や物の動きが活発になると見込まれるため、引き続き病原体侵入防止対策の徹底をお願いします!

1 海外への渡航自粛

- ・ 口蹄疫やアフリカ豚熱等の発生地域等へ**不要不急の渡航を自粛**すること。
- ・ **日本への持ち込みが禁止されている肉製品等を海外から持ち込まないこと。**



2 病原体の侵入防止

- ・ 衛生管理区域に立ち入る全ての人は**車両の消毒、専用の衣服や手袋・長靴の着用、手指消毒等を徹底**すること。
- ・ 衛生管理区域及び畜舎に関係のない人が**立ち入らないよう、境界を明確にして看板等で注意を促す**こと。
- ・ 野生動物侵入防止対策を**徹底**すること。



3 健康観察・早期発見・早期通報

裏面もあります

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目18-25

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810

次のような症状が見られたら速やかに家畜保健衛生所へ！

【豚熱の特定症状】

- 1 耳翼、下腹部、四肢等に**紫斑**が出る。
- 2 以下のいずれかの症状を示す豚が1週間ほどの間に増加している。
 - (1) 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
 - (2) 便秘、下痢
 - (3) 結膜炎（目やに）
 - (4) 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
 - (5) 削瘦、被毛粗剛、発育不良（いわゆる「ひね豚」）
 - (6) 死流産等の異常産の発生
 - (7) 血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便
- 3 同一の畜舎内において、1週間ほどの間に複数の繁殖または肥育豚等が**突然死亡**する。



写真出典：岐阜県



写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

【アフリカ豚熱の特定症状】

症状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。症状は豚熱と類似しているが、**甚急性では突然死亡、急性では発熱、皮下出血、粘血便、チアノーゼ**などを呈し、死亡率は100%。

